

情報サービス産業白書 2025
「新たなテクノロジーの活用による未来社会の実現」
講演会 開催報告

令和7年7月31日(木) 15時30分から17時まで、オンライン説明会(Zoom)にて、情報サービス産業白書2025「新たなテクノロジーの活用による未来社会の実現」講演会を開催した。参加者は140名。

はじめに、JISA 副会長・企画委員会委員長 船越真樹氏((株)IDホールディングス 代表取締役社長)から挨拶があり、その後、白書編纂部会長 村野正泰氏((株)三菱総合研究所 情報システム・DX推進部 副部長)及び(株)三菱総合研究所 公共イノベーション部門 先進技術・セキュリティ事業本部 サイバーセキュリティ戦略グループリーダー・江連三香氏より講演が行われた。最初に村野氏より2025年版において新しいテクノロジー(生成AI等)に着目した背景と、変化する環境において情報サービス企業が果たすべき役割について説明があった。次に江連氏より、ユーザー企業と情報サービス産業の動向として、「新たなテクノロジーに対する認識」「新たなテクノロジーの活用状況」「生成AI活用の自己評価と今後の見通し」等について白書アンケート結果が紹介された。さらに新たなテクノロジーと情報サービス企業が果たすべき重要な役割について、「情報サービス企業が担う現状の役割」「ユーザー企業の抱える課題と外部事業者への期待」「ユーザー企業が抱える課題の分類」「生成AI活用に対する自己評価ごとの分析」について白書アンケートの結果が紹介された。最後に情報サービス産業の近未来像として、生成AIが情報サービス市場に与える影響を踏まえ、生成AIを活用して自社ビジネスの競争力強化につなげることが重要であること、そのための取り組みは全社的に実施する必要があるため、経営リソースの活用方針は経営層として判断し、一体的に推進することの必要であることが示された。

その後、活発な質疑応答が行われ、閉会となった。

(田畑)